

今年度は市民福祉常任委員会と病院事業運営審議委員会に所属

枚方市議会の5月開会議会が、5月15日から19日まで開かれました。議長をはじめとする今年度の議会役員及び各議員の所属委員会等が決まりました。

2期目がスタートした1年前に、監査委員、文教常任委員会副委員長、議会運営委員のお役を頂戴しました。この1年間、至らぬことも多々ありましたが、多くの皆さんに支えていただいたおかげで、無事に務めあげることができましたこと、感謝申し上げます。

今年度は、市民福祉常任委員会（市民生活部、健康福祉部及び市立ひらかた病院の所管に属する事項に関する議案の審査などを担当）の委員長、病院事業運

営審議委員会の副委員長を務めさせていただくことになりました。

いずれも、新型コロナウイルス対策の最前線で頑張ってくれているセクションを所管するということで大変な重責ですが、任された職責をしっかりと全うできるよう精一杯頑張ります。

また、大阪維新の会枚方市議会議員団のメンバーも、それぞれが新たな役割のもとで今任期2年目に突入しました。この危機を乗り越えるため、今後も一致結束して、感染拡大の防止と社会経済活動の再生に力を尽くしていきます。

水道料金(基本料金)の減免を実施

新型コロナウイルス対策で手洗いを推進

水需要の減少やインフラの老朽化が将来の水道事業に影響

枚方市では、新型コロナウイルス対策の一環として、水道料金の基本料金2か月分を減免することになりました。この減免による水道会計の減収分は2億7400万円で、うち2億5600万円は一般会計からの繰入により補てんされます。

今回の減免については、皆様に行っていただく手続きはなく、請求額から自動的に減免されます。

減免額は、一般家庭の場合（2か月）で、基本料金（16㎡まで）1522円が減免後は0円となり、例えば40㎡使用した場合は、4554円が減免後は3032円となります（金額は税込）。

枚方市はもともと水道料金が大阪府内でもベスト3に入るくらい安価であり、しかも多くの自治体で既に廃止された福祉減免制度も存続しています。

その上、2億7400万円もの経費を掛けて1世帯当た

り約1500円の減免にしかならない点からも、今回の対策については費用対効果の面で疑問が残りますが、ステイホームにより各家庭の使用水量が増加していること、他自治体で減免が実施されている中で市民の方からの要望が多かったこと、実施するのに煩わしい手続きが不要なことなどから、賛成をしました。

今回の減免は、一般会計からの繰入が主な財源で、水道会計に与える影響は少ないですが、今後は水需要の減少が見込まれるだけでなく、老朽化した管路や中宮浄水場等のインフラの更新も必要なことから、水道事業の経営は厳しくなることが予想されます。

いずれこれらの費用が、水道料金に転嫁されることも十分に考えられますので、水道事業についてはさらなる経営改善が図られるよう、今後もしっかりとチェックしていきたいと考えています。

かじや知宏 プロフィール

<経歴>昭和43年9月12日、枚方市に生まれる。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会科学科社会福祉学専攻を卒業。（株）報知新聞社での11年間の勤務を経て、かじや行政書士事務所開業。大阪府行政書士会綱紀委員、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。<現在>枚方市議会議員（2期目）、かじや行政書士事務所代表、日本維新の会大阪府枚方市支部政調会長など。<趣味>読書、卓球、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇。

政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください

かじや知宏

で

検索

